

トルコ東部地震の初動調査報告会 in 関西

開催日時：2012年3月18日（日）16時30分～18時30分

開催場所：大阪市北区梅田 富士ビル貸会議室ユーズ・ツウ

報告事項：・トルコ東部地震の初動調査結果（渡瀬）

- ・eCentre/UNHCRによるNGOのためのセキュリティーワークショップ
参加報告（高田）
- ・東日本大震災 岩手県災害対策本部の支援活動報告（富岡）

2011年10月末から11月にかけて、トルコ東部地震医療支援のための初動調査で先遣隊が派遣されました。この活動については昨年末に関東地区で報告しましたが、このたび関西であらためて報告会を実施いたしました。昨年末の報告を聞けなかった HuMA メンバーに加え、AMDA や日本トルコ文化交流会の方にも来ていただき、総勢 21 名の参加がありました。

トルコ東部地震の初動調査報告

調査をして明らかになったことは、トルコ政府は1999年に1万8千人余りの死者を出したイズミット地震以降、災害医療システムを格段に進んだものに作り上げてきたということでした。そのため、今回は海外からの医療支援は不要であると判断した旨が報告されました。また、今回の報告ではトルコ版 DMAT といえる UMKE（ウムケ）の活動を日本の DMAT と比較しながら紹介されました。UMKE は中長期まで視野に入れた非常に柔軟性のある活動ができる組織であり、巡回診療を行ったり、野戦病院を運営したりするなど、日本 DMAT は参考にしたい部分が多々ありました。



熱心に報告を聞く参加者。手前ポスターは、初動調査チームが熱傷予防のために現地で作成し寄付してきたもの。

NGOのためのセキュリティーワークショップの参加報告

UNHCR の eCentre が実施した、紛争や内戦など治安の悪いフィールドでどのように NGO 職員が身を守っていくか等をテーマとした研修を受講した HuMA 看護師より報告がされました。研修の概要に加え、研修内容がダイジェストで紹介されました。フィールドで銃撃戦が始まったところに遭遇した時の最初の行動や、車両で移動する際の周囲への監視方法、地雷原に入ってしまった時の行動、リスクを減らすためのアセスメントの方法などが紹介されました。



岩手県災害対策本部の支援活動報告

HuMA は南三陸町を中心に東日本大震災での医療支援を行ってきました。この支援を実施するまでには HuMA のメーリングリストが発災直後から活用され、多くの情報交換がなされました。それらのやり取りの中で、岩手県の災害対策本部に支援に入った岩手医科大学の秋富医師 (HuMA) が大変な苦勞をしていると、DMAT で入った長谷川医師 (HuMA) がメーリングリストに流したことで、兵庫県の富岡医師 (HuMA) が岩手県災害対策本部の支援活動に入った経緯が報告されました。また災害対策本部支援活動中も HuMA のメーリングリストを通じて有益な情報を得ることができた旨の報告がなされました。

報告会では参加者の方々からも様々な質問や意見が出されました。その後の懇親会でも活発な意見交換が行われ、大盛況のうちに終わることが出来ました。

ご参加の皆様、誠にありがとうございました！